

令和8年4月1日

情報学部 情報学科 アセスメントプラン

アセスメントの方針

建学の精神並びに教育の目的に沿った教育活動を実施できているかを確認し、教育活動の成果と課題の発見に資することを目的として、学修成果のアセスメントを行う。学修成果に加えて、その過程となる学修意欲や学修行動もアセスメントに含む。これらのアセスメントにより、3つのポリシー（ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシー）の到達状況を把握する。ディプロマ・ポリシーの到達状況は卒業時の学修成果や卒業後の自己並びに社会的評価、カリキュラム・ポリシーの到達状況はカリキュラムの実施状況及び各授業科目における学生の学修成果等をもとにディプロマ・ポリシー到達に向けた進捗、アドミッション・ポリシーの到達状況は入学者の資質・能力を確認する。

アセスメントは、学生の成果物等に基づき「何ができるか（アウトカム）」を評価する直接評価と、学生の自己評価に基づき「何ができると思っているか（アウトカム）」、「どのように学修しているか（アウトプット）」を評価する間接評価に基づき行う。学生全体だけでなく個々の学生の状況についても、経年的かつ多面的に把握する。

アセスメントの方法

No.	名称	対象	時期・頻度	学年	主な質問項目、内容等	実施責任部署	結果の活用方法
1	卒業論文・卒業研究等ルーブリック	DP1～3	毎年度末等	卒業学年	卒業論文・卒業研究等の学修成果	教務委員会	個々の教員が評価を行った結果を学部で集約し、授業方法やカリキュラム改善、自己点検・評価に活用
2	卒業アンケート	DP1～3	毎年1～3月	卒業学年	学修経験、学修行動、習得した能力、大学の満足度	自己点検評価委員会	IR・教育支援センターから報告があるアンケート結果を、カリキュラム改善、学修支援や学修環境の充実、自己点検・評価、情報公開に活用
3	全国学生調査（最終年次）	DP1～3	毎年1回	卒業学年	学修経験、学修行動、習得した能力、大学の満足度	自己点検評価委員会	IR・教育支援センターから報告があるアンケート結果を、カリキュラム改善、学修支援や学修環境の充実、自己点検・評価、情報公開に活用
4	卒業生の進路状況	DP1～3	毎年1回	卒業学年	卒業生の進路（就職率、有力企業就職率、進学率）	就職支援委員会	キャリアセンターから報告がある進路状況を就職支援の充実、自己点検・評価、情報公開に活用

5	卒業生調査	DP1～3	毎年1回	卒業後1年以上経過の卒業生	現在の就業状況、大学に対する満足度、大学で身についた能力、授業や教育プログラムへの意見・要望	自己点検評価委員会	IR・教育支援センターから報告がある調査結果を、カリキュラム改善、学修支援や学修環境の充実、自己点検・評価、情報公開に活用
6	就職先アンケート	DP1～3	毎年1回	卒業生就職先 ※数名の採用実績がある企業	在籍する卒業生の活躍から、近畿大学のDP達成度や強み・弱みなどをアンケート聴取	自己点検評価委員会	IR・教育支援センターから報告があるアンケート結果を、カリキュラム改善、学修支援や学修環境の充実、自己点検・評価、情報公開に活用
7	外部評価委員会	CP/ DP1～3	毎年	外部評価委員会	在校生並びに卒業生の習熟状況から、近畿大学情報学部 のDPやCPに関する意見を聴取	執行部	産業界、卒業生、他大学教員などから構成される学部評価委員会において学部のDP、CPに関する意見を聴取し、カリキュラム改善に活用
8	学部長会談	CP/ DP1～3	毎年1回	学生代表者	学修行動、授業・カリキュラム満足度 学生生活に関する要望等	執行部	学生代表者との会談を実施後、その内容をもとにカリキュラム改善、学修支援や学修環境の充実、学修・生活環境の改善、自己点検・評価に活用。 学生部、IR・教育支援センターにも連携し全学的な改善にも活用。
9	学修振り返りアンケート	CP	每学期1回	全学年	学修行動、授業の理解度、学修到達目標達成度	自己点検評価委員会	アンケート結果を集計し、授業方法やカリキュラム改善、自己点検・評価に活用。 IR・教育支援センターにも報告し、全学的な改善にも活用。
10	成績不振学生、休退学の調査	CP	每学期1回 (成績不振)、 随時(休退学)	全学年	学業不振の状況(GPA、修得単位数、留年者数)、休学者数、退学者数	教務委員会	各教員が、担当学生の中の対象者との面談を実施し、修学及び学修支援、カリキュラム改善、自己点検・評価に活用
11	全国学生調査(2年次)	CP	毎年1回	2年生	学修経験、学修行動、習得した能力、大学の印象	自己点検評価委員会	IR・教育支援センターから報告がある調査結果を、授業方法やカリキュラム改善、学修支援や学修環境の充実、自己点検・評価、情報公開に活用
12	GPS-Academic (3年次を基本)	CP	毎年1回	3年生	学修行動、授業・カリキュラム満足度	学生委員会	IR・教育支援センターから依頼を受けた委託業者から報告がある結果を、キャリア支援、授業方法やカリキュラム改善、学修支援や低学年時における学修環境の充実、自己点検・評価、情報公開に活用
13	学生生活実態調査	CP	隔年9～10月頃	全学年	学生生活、課外活動の経験、学修行動、大学に対する	学生委員会	IR・教育支援センターから報告がある調査結果を、カリキュラム改善、学修支援や学修環

					る評価		境の充実、自己点検・評価、情報公開に活用
14	TOEIC	CP	毎年1～2月	1・2年生	TOEIC IP テスト	教養・基礎教育部門	1年間の英語教育の効果を把握し、英語カリキュラムの改善に活用
15	学生個人面談	CP	毎年4月・9月	全学年	学修状況、学生生活の状況の把握	学生委員会	各セメスター開始時に担当教員が各学生と個別に面談し、学生の学修状況や学生生活状況を把握し、問題があれば指導する。学部では、担当教員からの指導内容の報告に基づいて留年率・退学率の改善に活用
16	成績不振者対象の3者面談	CP	毎年4月	1・2年	学修状況、学生生活の状況の把握	学生委員会	成績不振者及びその家族に対して、修学及び学修支援に活用
17	入学試験	AP	毎年	入学志願者	大学での学修に必要な基礎学力	執行部	入学センターから報告がある入試結果を、入学試験の改善、入学者の現状把握に活用
18	GPS-Academic (1年次)	AP	毎年4～5月頃	1年生	本学への満足度、入学前の学習状況、海外留学の意識、卒業後の進路	学生委員会	IR・教育支援センターから依頼を受けた委託業者から報告がある結果を、入学時点の汎用的能力の把握、今後の学修支援、自己点検・評価、情報公開に活用
19	英語プレイスメントテスト	AP	毎年	1年生	TOEIC Bridge テスト	教養・基礎教育部門	入学時点の英語習熟度を把握し、習熟度別語学教育のクラス分けに活用
20	数学プレイスメントテスト	AP	毎年	1年生	数学の習熟度	数学リメディアルWG	入学時点の数学の習熟度を把握し、リメディアル教育に活用

以上